

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公開番号】特開2009-141761(P2009-141761A)

【公開日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2007-317214(P2007-317214)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された画像データを、第1の記録媒体と第2の記録媒体に記録する記録手段と、前記第1の記録媒体に対して前記入力された画像データを連続的に記録しながら、所定の時間間隔で前記入力された画像データを取り出し、前記取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録するように、前記記録手段を制御する制御手段とを備えた記録装置。

【請求項2】

前記記録手段は、前記画像データと共に入力された音声データを前記第1の記録媒体と第2の記録媒体に記録し、前記制御手段は、前記第1の記録媒体に対して前記入力された画像データと音声データをそれぞれ連続的に記録しながら、前記取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録し、前記入力された音声データを連続的に前記第2の記録媒体に記録するように、前記記録手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記記録手段は、前記入力された画像データを前記所定の時間を単位として分割し、前記分割した画像データを一つの前記単位おきに間欠的に前記第2の記録媒体に記録するように、前記記録手段を制御することを特徴とする請求項1または2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記第1の記録媒体の使用済み容量が所定の容量に達すると、前記所定の時間間隔で取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録しながら、前記入力された画像データのうち前記第2の記録媒体に記録される期間以外の画像データを取り出して前記第1の記録媒体に対して間欠的に記録するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記第1の記録媒体の使用済み容量が所定の容量に達すると、前記入

力された画像データのうち前記第2の記録媒体に記録される期間以外の画像データを取り出し、この取り出した画像データを、前記第1の記録媒体に記録された画像データのうち前記第2の記録媒体に記録された期間と重複する期間の画像データに上書きするように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項6】

前記画像データを出力する撮像手段を備えたことを特徴とする請求項1から5の何れか1項に記載の記録装置。

【請求項7】

前記第1の記録媒体は着脱可能な記録媒体であり、前記第2の記録媒体は前記記録装置に内蔵された記録媒体であることを特徴とする請求項1から6の何れか1項に記載の記録装置。

【請求項8】

入力された画像データを、第1の記録媒体と第2の記録媒体に記録する記録手段を備える記録装置の制御方法であって、

前記第1の記録媒体に対して前記入力された画像データを連続的に記録しながら、所定の時間間隔で前記入力された画像データを取り出し、前記取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録するように、前記記録手段を制御する制御ステップを備えた記録装置の制御方法。

【請求項9】

入力された画像データを、第1の記録媒体と第2の記録媒体に記録する記録手段を備える記録装置の制御プログラムであって、

前記第1の記録媒体に対して前記入力された画像データを連続的に記録しながら、所定の時間間隔で前記入力された画像データを取り出し、前記取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録するように、前記記録手段を制御する制御ステップをコンピュータに実行させる記録装置の制御プログラム。

【請求項10】

請求項9に記載の制御プログラムを格納した、  
ことを特徴とするコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置、記録装置の制御方法、記録装置の制御プログラム、及び記憶媒体

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、例えば、デジタルカメラ等の撮像装置における記録装置、記録装置の制御方法、記録装置の制御プログラム、及び記憶媒体に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

そこで、本発明は、記録媒体の破損による画像データ消失を回避して安全性を確保する

ことができると共に、使用者がより快適に使用することができる記録装置、記録装置の制御方法、記録装置の制御プログラム及び記憶媒体を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記目的を達成するために、本発明の記録装置は、入力された画像データを、第1の記録媒体と第2の記録媒体に記録する記録手段と、前記第1の記録媒体に対して前記入力された画像データを連続的に記録しながら、所定の時間間隔で前記入力された画像データを取り出し、前記取り出した画像データを前記第2の記録媒体に対して間欠的に記録するように、前記記録手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】